

時代	文化	中国
1644	江 戸 文 化	朝鮮
		しん 清
1644	げん 元 ろく 緑 文 化	朝鮮
		しん 清

関連することがら・文化・覚え方

**[鎖国の完成]** **建築**

1639 **16**いろ**39**ポルトガル 数寄屋造りの桂離宮(京都)

家光が、ポルトガル船の来航禁止のお触れを出し、約200年間も続く鎖国が始まる。このことで幕府の支配が固められ、日本独自の文化も生まれる。

1641 **16**くて住み**41**オランダ出島  
オランダが商館を出島(長崎県)に移す。

この時代に日本と取引のあった外国はオランダと正式な国交はなかった中国の清王朝と、正式に国交を結んだ李氏朝鮮の3つです。

1643 家光が、本百姓が土地を手放すことを禁止する田畑永代売買禁止令を出す。幕府が年貢米を確実に取り立てるためと、苦しい生活から逃げて農民よりも税の負担が軽い町民になる農民たちが増えて、米の収穫が減ったためと思われる。

1649 麦・あわ・ひえなどの雑穀などを食べ、米を多く食べないようにさせるきまりの慶安のお触書を農民たちに出す。

1669 アイヌの酋長(シャクシャイン)が、蝦夷地(北海道)を支配しようとする松前藩と戦い破れたシャクシャインの戦い。

1670 新田開発のためにトンネルを掘って、芦ノ湖から駿河国(静岡県)まで水を引いた箱根用水が完成。

1680 徳川綱吉が5代将軍になる。

1687 綱吉が、動物を極端に保護した生類憐みの令という悪法を出す。綱吉は湯島(東京都)に孔子(儒学)をまつた聖堂も建てている。

**[幕府の政治改革…正享田寛天の改革と覚える]**

1709 白石じゃ、**1709**て失敗じゃ  
6代家宣と7代家継に仕えた儒学者の新井白石が幕府の財政を立て直すために正徳の治という儒学を重んじた政治改革(文治政治)を行う。

1715 新井白石が金銀の海外流出を防ぐために長崎貿易を制限するが効果はなかった。

1716 享保も**1716**いろ、でも吉(吉宗)とする  
徳川吉宗が8代将軍になり、年貢を四公六民から五公五民にするなどの享保の改革を行う。

1721 吉宗が庶民の意見を聞くための目安箱を設置する。

1642 イギリスで清教徒革命がおこる

1649 イギリスでチャールズ1世が処刑され、共和国になる

1661 フランスでルイ14世の絶対王政が始まる

1715 フランスのベルサイユ宮殿が完成












時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方	
江戸	元禄文化 文化 文化 文化 文化 文化 文化 文化 文化 文化	清	朝鮮	<p>1790 <b>1790</b> 学問が朱子学だけとは、<b>1790</b>。なあ、定信はん 松平定信が朱子学以外は認めないとした<b>寛政異学の禁</b>を出す。</p> <p>1792 <b>いきなり92、ラクスマン</b> ロシアの<b>ラクスマン</b>が日本との通商求めて根室(北海道)に 来航するが、幕府は通商を望むなら長崎にくるようにと 返事をする。</p> <p>1804 <b>1804</b> ナポレオンがフランス皇帝になる ロシアのレザノフが長崎に来航する。</p> <p>1808 イギリス軍艦のフェートン号が、オランダ船を追って 長崎港に侵入して乱暴をはたらく<b>フェートン号事件</b>が おこる。 <b>間宮林蔵</b>が樺太を探検して、樺太が島であることと<b>間宮海峡</b>を発見する。</p> <p>1825 江戸幕府が鎖国体制を守るために<b>外国船(異国船)打払令</b>を出す。</p> <p>1833 天保の<b>大ききん</b>にみまわれ、一揆・打ちこわしが多発する。</p> <p>1837 幕府には、<b>1837</b>大塩平八郎 徳川家慶が12代将軍になる。 もと大阪町奉行所の与力(役人)の大塩平八郎 が幕府の直轄する大阪で、ききんで苦しむ 人々を救おうと、<b>大塩平八郎の乱</b>をおこす。</p> <p><b>モリソン号、鎖国18と37</b>された 通商を求めて、神奈川県浦賀に来航した アメリカの商船モリソン号を砲撃する <b>モリソン号事件</b>がおこる。</p> <p>1839 <b>人は錯乱、蛮社の獄</b> 蘭学の研究が進み、世界情勢に目をむけた 高野長英と渡辺崋山が鎖国政策を批判した ため処罰されたできごとを<b>蛮社の獄</b>という。</p> <p>1841 <b>忠邦は、天保の仲間と酒飲み1841</b> 老中<b>水野忠邦</b>が、株仲間の独占が物価を 上げている原因として、株仲間の解散を 命じるなどの<b>天保の改革</b>にとりかかるが、 混乱をまねいただけで失敗した。</p> <p>1842 <b>薪と水、しかたがないからいや1842</b> 清がイギリスに負けたことを知った老中<b>水野忠邦</b>が <b>外国船打払令</b>を廃止して、外国船に燃料と食料を 与えよとする<b>薪水給与令</b>を出す。</p> <p>1843 老中<b>水野忠邦</b>が、出かせぎの農民たちを 強制的に国に帰して、農村の復興を 図った<b>人返し令</b>や江戸・大阪の周辺を 幕府領とし、その地域の大名や旗本に 替地を命じる<b>上地令</b>を出すが、大名や 旗本の反発が強くてすぐに撤回し、この ことで水野忠邦は失脚した。</p> <p>1844 オランダ国王が幕府に外国との貿易のやり方を教えるからと開国をすすめたが、幕府はこれを拒否し、後にアメリカとの間で不平等条約を結ばされることになる。</p>	 <p>ロシア 朝鮮 清 琉球 根室 樺太 千島列島 浦賀 長崎 モリソン号のレザノフが来航 1792年、ロシアのラクスマンが来航 1804年、ロシアのレザノフが来航 1837年、アメリカのモリソン号が来航 1853年、アメリカのペリーが来航</p>
				<p>19世紀始めころの江戸を中心とした町人文化で、元禄文化のような活気がうすれ、当時の社会不安を反映したこっけいや皮肉を楽しむ<b>風潮</b>が強い文化 <b>川柳・狂歌</b>の流行 浮世風呂(式亭三馬) 本居宣長が<b>国学</b>をおこし、古事記を研究して、<b>古事記伝</b>をあらわす。 <b>東海道中膝栗毛</b>(十返舎一九) 南総里見八犬伝(滝沢馬琴)</p> <p><b>与謝蕪村</b>(俳人で画家) おらが春(小林一茶) ←浮世絵(錦絵)・美人画 鈴木晴信 喜多川歌麿</p> <p>とうしゅうさいしやくく 東洲斎写楽→</p> <p>富嶽三十六景→ (葛飾北斎) 東海道五十三次 (歌川重重) 大日本沿海輿地全図(伊能忠敬)↓</p> <p>イギリスに破れる 医学 オランダ商館のドイツ人医師<b>シーボルト</b>が <b>鳴滝塾</b>を開き、蘭学者の<b>高野長英</b>らを育てる。 <b>皮戌夢物語</b>(高野長英) <b>慎機論</b>(渡辺崋山)</p>	

時代	文化	中国	朝鮮
	文化 政治 文化		
	江戸	清	
		朝鮮	

関連することがら・文化・覚え方

**【開国と幕府の滅亡】**

**1853** 黒船に大砲撃たれて**1853**

徳川家定が13代将軍になる。アメリカのペリーが、開国と通商を要求する大統領の手紙を持って浦賀(横須賀市)に来航。目的は捕鯨や中国との貿易を行なうアメリカ船の食料や水・石炭などの補給を日本でする必要があったことなど。



**1854** 開国し、これから困難**1854**

7隻の軍艦をひきいたペリーが、神奈川(横浜市)の沖にふたたび現れる。黒船の姿におそれた幕府は日米和親条約を結び、この条約によって下田(静岡県)と函館(北海道)の港を開き、アメリカ船の燃料と食料の補給やアメリカ領事の下田駐在を認める。その後、イギリス・ロシア・オランダ・フランスとも同じ内容の条約を結び、200年続いた鎖国が終わる。



**1855** 榎本武揚がロシアのプチャーチンと日露和親条約を結び、択捉島より南を日本領に、樺太は日本とロシアの雑居地にすることをとり決めた。後の太平洋戦争で四島をふくむ領土を奪われたため、これらの返還を要求する北方領土問題が今日につながっている。

**1858** だ、不平等条約

徳川家茂が14代将軍になる。大老の井伊直弼が、初代アメリカ領事のハリスと日米修好通商条約を結んで貿易が始まり、下田を閉じて神奈川(横浜)・長崎・新潟・兵庫(神戸)も開港(合計5港)する。しかし、治外法権を承認し、関税自主権



が無いなどの日本に不利な条約であった。また、生糸や茶をさかんに輸出したため国内は品不足による物価高におちいり、生活が苦しくなったのは幕府や外国のせいだと非難した吉田松陰(松下村塾)や橋本左内らを死刑にする安政の大獄がおきた。やがて、人々の間に外国人を打ち払い、天皇を中心にすえた政治に改革しようとする尊皇攘夷運動が広まる。

**1860** 暗殺された

安政の大獄で、藩主徳川斉昭(15代慶喜の父)が処罰されたことに不満を強めた水戸藩の尊皇攘夷派の志士たちが、命令を出した井伊直弼を暗殺する桜田門外の変がおこる。

1861 アメリカで南北戦争がおこる



**1862** 横浜の生麦18よ、62炊けない

横浜の生麦で、薩摩藩の行列をさえぎったイギリス人を切り殺す生麦事件がおこる。



**1863**

イギリスが、幕府や薩摩藩に対して生麦事件での賠償金を要求するが、藩はこれに応じなかったため、薩英戦争に発展し、敗北した薩摩藩は近代兵器の恐ろしさを痛感する。以後、和議が成立し、イギリスが薩摩藩に対して幕府を倒すための援助をするようになる。さらに同年、幕府に命じられた長州藩(山口県)が、下関海峡を通過するアメリカ・フランス・オランダの外国船を砲撃する下関事件がおこった。

1863 アメリカで、リンカーンが奴隷解放政策を行う

**1864** 長州が降伏するも1国**364**した

下関事件の報復でイギリス・フランス・アメリカ・オランダの四国が下関砲台を攻撃する四国艦隊下関砲撃事件がおこる。わずか3日間で長州藩は降伏。この事件で攘夷(外国人を討ち果たすこと)の不可能をさとった長州藩の高杉晋作らが倒幕運動に傾いていく。



**1866**

徳川慶喜が江戸幕府最後の第15代将軍になる。薩摩藩の西郷隆盛と長州藩の木戸孝允が、坂本竜馬(土佐藩の郷士で、軍艦奉行の勝海舟に航海術を学び海援隊を結成した人物。大政奉還の実現に力をつくすが、京都で幕府に暗殺された)のなかたちで、幕府を倒すための薩長同盟を結ぶ。





時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
江戸				<p><b>「明治維新」</b></p> <p><b>1867</b> 慶喜は大政奉還 <b>18</b>だ<b>67</b></p> <p>徳川慶喜が政治の実権を天皇に返す<b>大政奉還</b>を行い、およそ <b>260年</b>続いた江戸幕府と約 <b>700年間</b>の武士の世が終わった。これを受け、明治天皇が<b>王政復古の</b>大号令を出す。</p>
1868	1868		<p><b>1868</b> <b>18</b>で<b>68</b>ご誓文</p> <p>明治新政府と旧幕府軍の戦いである<b>戊辰戦争</b>がおこり、京都の<b>鳥羽・伏見</b>の戦いから、北海道函館での<b>五稜郭</b>の戦いまで続いた。この後、明治天皇は新政府の方針を全国の大名たちに示す<b>五か条の御誓文</b>を出し、民衆に対しては、各地に<b>五榜の掲示</b>といわれる<b>5枚</b>の立て札を立てて、政府の方針を示した。</p> <p>しかし、その内容は江戸幕府とあまり変わらないものだったため、民衆は失望した。同時に、神と仏は別なものであるとする<b>神仏分離令</b>が出ている。それまでは神も仏も同じであるとされていた。</p> <p><b>1869</b> <b>1869</b>れる<b>版籍奉還</b></p> <p>江戸を<b>東京</b>とし、元号も慶応から明治に変え、東京を日本の首都とし、江戸幕府の藩主が領有していた土地と人民の支配権は天皇に返す<b>版籍奉還</b>が行われ、<b>士農工商</b>の身分制度は<b>四民平等</b>であるとし、大名や公家は華族に、武士の<b>苗字帯刀</b>などの特権はなくして<b>士族</b>とし、農工商・えた・ひにんは<b>平民</b>であるとされた。また、蝦夷地のよび名を北海道と改め、開拓のために<b>開拓使</b>(官庁)が置かれた。</p> <p>東京～横浜を結ぶ<b>電信(電報)</b>が開通した。</p> <p><b>1870</b></p> <p>東京で<b>人力車</b>が営業を始める。<b>日刊新聞</b>が発刊される。</p> <p><b>1871</b> <b>使節団</b>、藩を県とは<b>1871</b>ぞ</p> <p>藩を廃止して府県を置く<b>廃藩置県</b>が行われ、新しく<b>府知事</b>や<b>県令</b>(県知事)が任命された。このとき、北海道(1886から)と沖繩(1879年)は新政府の統治下に置かれていない。</p> <p>中国の清と対等の立場での<b>日清修好条規</b>(条約)を結ぶ。</p> <p><b>前島密</b>の努力によって、東京～京都～大阪を結ぶ<b>郵便制度</b>ができる。貨幣の単位を円・銭・厘に変える<b>貨幣制度</b>ができる。</p> <p>江戸幕府が結んだ<b>不平等条約</b>を改めるための<b>使節団</b>を欧米に派遣するが、欧米諸国は日本を近代国家として認めず、要求に応じてくれなかった。</p> <p><b>1872</b></p> <p><b>新橋～横浜</b>の間をイギリスから技術を導入した<b>鉄道(陸蒸気)</b>が走る。銀行制度ができる。小中大学区に分ける<b>学制</b>が公布される。群馬県で、フランスから技術導入した<b>官営の富岡製糸場</b>が操業を始める。</p> <p><b>生活・文化</b></p> <p><b>学問のすすめ</b>(福沢諭吉)・慶応義塾大(福沢諭吉)・東京専門学校(早稲田大・大隈重信)</p> <p>横浜で<b>ガス灯</b>がとまる((1872)) 銀座に<b>レンガ造り</b>の洋館が建つ(1873)</p>	



●五か条の御誓文●

- 一 政治のことは、会議を開き、みんなの意見で決めよう。
- 一 みんなの心を一つにして、新しい政策を行おう。
- 一 役人も民衆もすべての人々の願いがかなえられるようにしよう。
- 一 むかしからの悪い習慣をやめよう。
- 一 新しい知識を世界から求め、天皇中心の国を発展させよう。

●五榜の掲示(一部)●

- 一 大ぜいで願いごとをしたり、村からにげだしたり、一揆をおこしてはいけない。
- 一 キリスト教はかたく禁止する。

1869 スエズ運河が開通



都道府県名と県庁所在地名がちがうところ



1871 ドイツ帝国が成立



時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方
明治文化	明 治 文 化	清 朝 鮮	朝鮮	<p><b>1873</b> 農民は、徴兵に地租まで取られ、<b>1873</b>だ</p> <p>今までの陰暦(月の動き)を<b>太陽暦</b>に変えたため、1872年12月3日が1873年1月1日になる。米の価格によって年貢は増減するため、土地の所有者に地価の<b>3%</b>を現金で納めさせる<b>地租改正</b>を行い、国の財政の土台を固めようとした。<b>山県有朋</b>が、<b>20歳以上の男子</b>に兵役の義務をおわせる<b>徴兵令</b>をつくる。このとき、農民たちが働き手をとられることや、税の負担が江戸時代と変わらなかったため、これらへの反対一揆をおこしている。</p> <p><b>[自由民権運動]</b></p> <p><b>1874</b> <b>建白書</b>、<b>反対唱える</b><b>1874</b></p> <p>高知に自由党の母体となる<b>立志社</b>をつくった<b>板垣退助</b>が、藩閥政治をやめるように要求した<b>民選議院設立建白書</b>(国会を開いて国民が選んだ議員によって政治を行うべきである)を政府に提出する。</p> <p><b>1875</b></p> <p>日本が、鎖国政策をとっていた朝鮮に開国をせまる<b>江華島事件</b>がおき、翌年に日本有利の<b>日朝修好条規</b>を朝鮮に結ばせる。また、この年に元幕臣の榎本武揚が、ロシアと<b>樺太・千島交換条約</b>を結び千島から南が日本領になっている。さらに、北海道に<b>屯田兵</b>(士族の失業対策)を送り、北の警備と開拓にあたっている。</p> <p><b>1876</b></p> <p>李<b>地租改正反対一揆</b>により、地租が3%から<b>2.5%</b>になる。日本が<b>小笠原諸島の領有権</b>を宣言したため、イギリス・アメリカと対立する。琉球帰属問題では<b>清</b>と対立した。</p> <p><b>1877</b> <b>西郷どん</b>、<b>1877</b>残りかわいそう</p> <p>士族たちの不満が爆発して、鹿児島県で<b>西南戦争</b>がおこる。このとき先頭に立った<b>西郷隆盛</b>は<b>征韓論</b>が政府に反対されたことで政府を辞めており、この戦いで<b>敗死</b>する。<b>東京大学</b>が設立される。<b>モース</b>が<b>大森貝塚</b>を発見する</p> <p><b>1879</b> <b>1877</b> イギリス領インド帝国が成立 沖縄県を設置する。 <b>1879</b> アメリカでエジソンが電球を発明</p> <p><b>1880</b></p> <p>藩閥政治の政府が、国会の開設などを要求する<b>自由民権運動</b>の広まりをおさえるため、各地の演説会や出版物をきびしく取りしめる<b>集会条例</b>を定める。それでも、国民の要求は高まる一方であった。</p> <p><b>1881</b></p> <p>国民の要求におされた政府が、1890年に国会を開くという約束の<b>国会開設の勅諭</b>が出され、その開設に向け、<b>板垣退助</b>が<b>自由党</b>を結成する。</p> <p><b>1882</b></p> <p>国会開設に向けて<b>大隈重信</b>が<b>立憲改進黨</b>を結成する。</p> <p><b>日本銀行</b>が設立される。</p> <p><b>1883</b> <b>1882</b> ドイツ・オーストリア・イタリアが<b>三国同盟</b>をむすぶ</p> <p>日本の近代化を示し、<b>不平等条約</b>を撤回するために井上馨外相が<b>鹿鳴館</b>を建設する。しかし、欧米人たちは中身がともなっていないと冷ややかな目で見ている。</p> <p><b>1884</b></p> <p>不景気や生糸の値下がりに苦しんだ秩父(埼玉県)の農民たちが、自由民権の政府をつくることや減税を求め、これに加わった自由党員や農民が処罰される<b>秩父事件</b>がおこる。</p>
			 <p>1875年 樺太をロシア領とする代わりに、千島列島を日本領とする条約をロシアと結ぶ</p> <p>1876年 小笠原諸島を日本の領土とする</p> <p>1879年 琉球藩を沖縄県とする</p>	
			 <p>佐賀の乱 1874</p> <p>秋月の乱 1876</p> <p>萩の乱 1876</p> <p>土族の反乱のおきたところ</p> <p>西南戦争 1877</p> <p>神風連の乱 1876</p>	
				
				
				
				
				



時代	文化	中国	朝鮮
明治	明治	清	朝鮮
文化	文化		

関連することがら・文化・覚え方

**1885**  
内閣制度ができ、**伊藤博文**が初代総理大臣になる。



小説神髓(坪内逍遙 1885)



**1886**  
**18**な**86**だノルマントン

沈没したイギリスの貨物船ノルマントン号のイギリス人の船長と乗組員は全員ボートで脱出し、残された日本人の乗客が全員おぼれて死んでしまった**ノルマントン号事件**がおこる。しかし、治外法権によって、日本の裁判で裁くことができずに船長は軽い罪になったため、国民の間に**治外法権撤廃の機運**が高まる。

義務教育4カ年とする学校令が出される。**学校へ、1886と義務教育**

**1889**  
**明治憲法1889**  
立憲君主制の強いドイツの憲法を手本に天皇主権で、国民は天皇の**臣民**(けらい)であるとする**大日本帝国憲法**が、天皇が国民に与える形の**欽定憲法**として2月11日に発布された。…黒田清隆内閣

第一条	大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス
第二条	天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス
第四条	天皇ハ国ノ元首ニシテ統治権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ
第十一条	天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス
第十三条	天皇ハ戦ヲ宣シ和ヲ講シ及諸般ノ条約ヲ締結ス

東海道本線が全通する

小説浮雲(二葉亭四迷 1889)

**1890**  
**議**会を開くも**1890**

**第1回衆議院選挙**が行われ、**第1回帝国議会**が開かれる。この衆議院選挙は、**15円以上**の国税を納める**25歳以上**の男子のみで、全人口の**1%**だけが参加できた制限選挙であった。被選挙権は**30歳以上**。

李

帝国議会は、国民が選挙で選ぶ衆議院と、天皇が任命する**貴族院**の**2院制**でなっている。小学校の道徳の授業では、天皇を神として崇め、天皇のために身命を捨てて国を守ることなどの**忠君愛国**の精神を、こどもたちに教えこむための**教育勅語**が使われている。



**1891**



**足尾銅山鉍毒事件**(栃木県)がおきるが、政府は**外貨獲得**のためとして、鉍毒をたれ流しにした。これに対して衆議院議員の**田中正造**が反対運動を展開した。これが日本の公害反対運動の原点である。

破傷風の血清療法発見(北里柴三郎 1890)

[大陸進出と日本の第1次産業革命]

**1894**  
**宗光**は**1894**で**法権撤廃**・**清に勝つため1894**

外務大臣**陸奥宗光**がイギリスとの間で**治外法権の撤廃**をはたす。日清戦争の直前だったことから、**ロシアの勢力**が中国や**朝鮮**におよぶことを防ぐねらいがイギリスにあって応じたと考えられている。同じ年、治外法権の撤廃をもちこんだ**日英通商航海条約**をイギリスと結んでいる。…伊藤博文内閣

また、**朝鮮**を開国させた日本は、**朝鮮**に勢力をのばし、**朝鮮**を自国の領土の一部と考えていた**清**と対立する。このとき、**朝鮮**で外国の勢力の追い出しと**朝鮮政府**の**悪政**反対を叫んだ**東学党**の農民たちの**反乱**の**東学党の乱(甲午農民戦争)**がおき、日本が**清**の**軍艦**を攻撃したことをきっかけにして**日清戦争**が始まる。



**1895**  
**あ**の**1895**たよ、**三国干渉**

日清戦争で日本が勝利し、講和の**下関条約**(山口県)で  
①**朝鮮**が**独立国**であることを清に認めさせ、②**遼東半島**と、**台湾**・**澎湖島**などの島々を日本の領土にし、  
③**賠償金3億円**(日本円)を清から手に入れる。しかし、中国への進出をねらう**ロシア**・**フランス**・**ドイツ**が、日本に**遼東半島**の返還を要求し、清に返還することになったできごとの**三国干渉**がおき、この後の日本は、**ロシア**と対立することになる。



1897 かん 韓 国

**1898**  
おおくましげのぶ **大隈重信**と板垣退助による日本初の**政党内閣**の**隈板内閣**が成立する。

**1898** **アメリカ**が**フィリピン**を占領

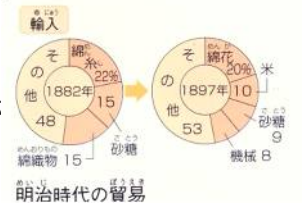
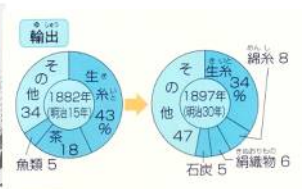
時代	文化	中国	朝鮮
明治	文化		朝鮮
			韓国
明治	文化		
1910	日本		

関連することがら・文化・覚え方

【第二次産業革命】

1901

日本の**第一次産業革命**は、日清戦争の前後からの綿糸・綿織物・生糸などの**軽工業**中心に始まっている。とくに国内で原料を得られる**生糸**は大きな利益を上げ、1909年には**生糸**の生産額と輸出額が世界一になっている。得た利益で軍艦や兵器を買い、**富国強兵**の政策が進められた。この年に筑豊炭田の石炭と中国の鉱物資源を利用した**八幡製鉄所**が操業を開始すると、ここでつくられた鉄鋼をもとに**車両**や**軍艦**・大砲などが国内で生産され、**重工業**が発達し、**第二次産業革命**へと移っていく。



明治時代の貿易

1902

ロシアに1902日英同盟

ロシアと対抗するために、イギリスが日本と**日英同盟**を結ぶ。

1904

日露では兵隊足りない1904

日本海軍が**遼東半島**のロシア艦隊を攻撃して、**日露戦争**が始まる。この戦争に勝利して戦争は儲かると思った国民は戦争を支持した。しかし、日本軍の武器・弾薬・食料などが不足し、アメリカやイギリスから借金して戦争を続けた。やがて、政府が戦争のための税金を増やしたことで国民の生活も苦しくなり、与謝野晶子らのようにこの戦争に反対する人々も増え、戦争を続けることがむずかしくなった日本は、ひそかにアメリカ大統領の**セオドア・ルーズベルト**に講和のなかだちをたのんだ。



1904 シベリア鉄道が開通する



資料「君死にたまふことなかれ」(一部)

あゝをとうよ、君を泣く、君死にたまふことなかれ、末に生れし君なれば親のなさははまりしも、親は刃をにぎらせて人を殺せとをしへしや人を殺して死ねよとして二十四までをそだてしや



1905

ポーツマス、1905の金取れず

ロシアも革命がおきて戦争が続けられなくなったため、ルーズベルトの仲立ちで**ポーツマス**(アメリカの軍港)にて、**日露戦争**の講和の**ポーツマス条約**を調印する(小村寿太郎)。この条約で、日本に対してロシアが認めたことからは①日本が**韓国**に対する**支配権**をもつこと②**旅順**・大連の一部を期限付きで借りる**租借権**と、ロシアが経営していた**南満州鉄道**の権利を日本がもつこと③**樺太**の**南半分**を日本の領土とすることなどである。…桂太郎内閣しかし、賠償金がとれなかったため、増税にたえた国民の不満が高まり、民衆が東京日比谷にある交番を焼き打ちする**日比谷事件**がおきている。日露戦争後は義務教育の年限が6年になり、子供の**就学率**も90%をこえている。さらに、この条約で韓国**の支配権**をもった日本は、**韓国統監府**という役所を置いて政治の実権をにぎり、国名も**朝鮮**に変え、首都も**漢城**(ソウル)から**京城**へと改め、**伊藤博文**が初代**統監**になっている。これに対し韓国の民衆ははげしく抵抗した。

1906

南満州鉄道株式会社を設立。

1907 英・仏・露三国協商

1909 高峰讓吉がタカジアスターゼを創製

1909

韓国の安重根に初代統監の**伊藤博文**が暗殺される。

小早川加藤 小西が世にあらば

今宵の月をいかに見るらむ

1910

1910席で韓国併合

伊藤博文が暗殺されたことを理由に**韓国**を併合して日本の**植民地**にする。このとき、この戦争に反対する社会主義者の**幸徳秋水**が死刑になる**大逆事件**がおきている。



1910 日本

1911

寿太郎が1911のは自主権回復

小村寿太郎がアメリカと交渉して**関税自主権**の回復をはたす。

1911 中国で辛亥革命がおこる



時代	文化	中国	朝鮮	関連することから・文化・覚え方
明治	明治文化	清		<p><b>明治文化</b></p> <p>金色夜叉(尾崎紅葉1897) 若菜集(島崎藤村1897)</p> <p>たけくらべ(樋口一葉1895) 荒城の月(滝廉太郎1900) みだれ髪(与謝野晶子1901)</p> <p>舞姫・高瀬舟(森陽外)</p> <p>幸徳秋水(平民新聞)を刊行(1903)</p> <p>わがはい 我輩は猫である(夏目漱石1905) 武蔵野(国木田独步) 蒲団(田山花袋1907)</p> <p>はかい 破戒(島崎藤村1906) 一握の砂(石川啄木1910)</p> <p>雑誌「白樺」創刊(1910)</p> <p>日本画家…フェノロサ・岡倉天心・横山大観 洋画家…黒田清輝</p>
1912		1912		<p><b>[大正デモクラシー]</b></p> <p>1912</p> <p>明治の終わりごろから藩閥政治に対する批判が高まり、長州出身の桂太郎内閣ができる。憲政の神様といわれた尾崎行雄と犬養毅が立憲政治のための普通選挙を要求する第一次護憲運動がおこる。</p> <p>1914</p> <p>1914 サラエボで、第一次大戦始まった</p> <p>オーストリアの皇太子夫妻が、セルビアの青年に暗殺されるサラエボ事件がおき、第一次世界大戦が勃発、日本は日英同盟を理由に連合国側として参戦し、ドイツに宣戦布告する。大戦中の日本は、ヨーロッパの国々やアジア諸国にかなりの輸出をしたため、大戦景気といわれる好景気となり、農業国から工業国になった。このときに三井・三菱・住友・安田の財閥が日本を動かすほどの資本をたくわえる。</p> <p>1915</p> <p>中国へ19か15よ、二十一</p> <p>中国に勢力をのばしたい日本は、太平洋のドイツ領南洋諸島基地が置かれた中国の青島を占領し、中国大陸の南満州を手に入れようとして、中国に対し二十一か条の要求(大隈重信内閣)を突きつけ、強引にその要求を認めさせた。</p> <p>1916</p> <p>デモクラシー(民主主義)の指導者で東大教授の吉野作造が民本主義の考え方を表し、多くの人に支持された。</p> <p>1917</p> <p>シベリアは米騒動、米が食えない、19の18</p> <p>ロシア革命で、社会主義思想の広まりをおそれた日本・イギリス・アメリカがシベリアに出兵して革命を失敗させようとしたが失敗する。シベリア出兵を見こした米商人たちの米の売りおしみなどで、米の値段が高騰したことから、富山県魚津の主婦たちが米の安売りなどを要求して米屋や町役場におしかける米騒動がおこる。</p> <p>この騒ぎで寺内正毅内閣が総辞職し、日本で初めての本格的な政党内閣の原敬内閣(立憲政友会)ができる。</p> <p>1917 ロシア革命で世界最初の社会主義国家が誕生</p>
1912		1912	日本領	<p>1912</p> <p>1914</p> <p>1915</p> <p>1916</p> <p>1917</p> <p>1918</p> <p>1919</p> <p>第一次世界大戦を終えるための講和会議が、フランスのベルサイユ宮殿で開かれてベルサイユ条約が調印される。日本は中国にあったドイツの権利の山東半島やドイツ領南洋諸島を手に入れる。しかし、日本は、「まるで火事場どろぼうのようだ」として世界から非難された。朝鮮では日本からの独立を求める三・一独立運動がおき、中国の北京ではドイツの権利を日本に渡すことに抗議する五・四運動の排日運動がさかんになった。</p>

時代	文化	中国	朝鮮	関連することがら・文化・覚え方														
大正 文化	大正文化	中国	朝鮮	<p><b>1920</b></p> <p>日本が、アメリカ大統領 <b>ウィルソン</b> の提唱で設立された <b>国際連盟</b> に常任理事国として加盟する。本部はスイスのジュネーブに置かれたが、アメリカが加盟しなかったために崩壊する。このとき、<b>新渡戸稲造</b> が国際連盟の事務次長を務めて世界平和につくした。日本初のメーデーが東京で開かれた。</p>  <p>女性の解放と参政権運動もさかんになり、<b>市川房枝</b> らが女性の解放と参政権を求めて運動をおこし、雑誌 <b>青鞜</b> (平塚 <b>雷鳥</b>) を発刊している。</p>  														
				<p><b>1921</b> 都市の人口が増加し、バス・円タクなどの交通機関が発達 各国の増大する軍事費の経済的負担を縮小するため、<b>ワシントン軍縮会議</b> が開かれた。 …高橋是清内閣</p>														
				<p><b>1922</b> <b>組合・結社1922</b>え 四民平等といわれながらもきびしい差別に苦しんできた人々が、<b>全国水平社</b> (京都) を結成し、差別からの解放運動をおこす。右が雑誌「水平」。 農村で、小作料の引き下げなどを求める小作争議が続発したため、全国初の農民の組織の <b>日本農民組合</b> が結成される。 <b>1922 ソビエト社会主義共和国連邦が成立</b></p> 														
				<p><b>1923</b> <b>大震災</b> でわしはダメ、そこ <b>1923</b> あとたのむ 9月1日午前11:58、死者9万1千人・行方不明1万3千人、重軽傷者計15万7千人で国家予算の約4倍の被害総額約60億円を出した <b>関東大震災</b> がおき、混乱の中で朝鮮人約6千人と中国人約200人が虐殺された。この被害で日本の不景気がいっそうひどくなった。</p>														
				<p><b>1924</b> <b>ソ連でスターリン政権が成立</b> 原敬内閣の後、役人や軍人による内閣が続いたため、第二次護憲運動がおこり、<b>加藤高明政党内閣</b> ができる。</p>														
				<p><b>1925</b> <b>普通選挙とひきかえに、わが自由1925</b> ったよ <b>治安維持法</b> 加藤高明内閣のもとで、納税額に関係なく <b>25歳以上の全ての男子</b> に選挙権をあたえる <b>普通選挙法</b> ができ、選挙権を持つ人たちが全国民の <b>20%</b> になる。しかし、同時に政治や社会のしくみを変えようとする <b>社会主義者</b> を取りしめるための <b>治安維持法</b> が定められ、のちに戦争に反対する人々は、この法律によって処罰された。</p>  														
				<p><b>ラジオ放送が始まる</b></p>														
				<p><b>1927</b> <b>1927 中国で蒋介石が国民政府を樹立</b> 上野～浅草の間を日本初の <b>地下鉄</b> が開通する。</p>														
				<p><b>1928</b> 最初の <b>衆議院議員普通選挙</b> が行われた。自由主義者や社会主義者を取り締まるための <b>特別高等警察</b> が設置された。</p>														
				<p><b>1929</b> アメリカから始まった <b>金融恐慌</b> で銀行などが倒産し、生糸の輸出も減り、東北地方の大凶作も重なったため、日本が深刻な不景気になり、身売りや小作争議、労働争議が増える。そのため、財閥と政府は軍部を中心に <b>中国大陸に植民地</b> をつくり、資源を安く手に入れ、輸出を増やして不景気を解決しようとした。</p>														
昭和 文化	昭和	中国	朝鮮	<p><b>1930</b> 増え続ける軍事費をおさえるための <b>軍縮会議</b> がロンドンで開かれる。 <b>[軍部の進出と中国侵略]</b></p>														
				<p><b>1931</b> <b>満州で1931を15年</b> 関東軍(満州にいる軍隊)が、<b>柳条湖</b> (瀋陽) で南満州鉄道を爆破し、これを中国軍のしわざとして満州を占領する <b>南満州鉄道爆破事件</b> (柳条湖事件) がおこる。…犬養毅内閣 ここから始まる日本の中国侵略を <b>満州事変</b> といい、1945年の太平洋戦争敗戦まで続く <b>15年戦争</b> の始まりである。</p>														
				 <table border="1"> <caption>衆議院の選挙権の拡大</caption> <thead> <tr> <th>選挙権の範囲</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1890年(明治23年) 男25歳以上 直接選挙15円以上</td> <td>45万人</td> <td>(全人口の1.1%)</td> </tr> <tr> <td>1902年(明治35年) 男25歳以上 直接選挙10円以上</td> <td>98万人</td> <td>(2.1%)</td> </tr> <tr> <td>1920年(大正9年) 男25歳以上 直接選挙3円以上</td> <td>306万人</td> <td>(5.3%)</td> </tr> <tr> <td>1928年(昭和3年) 男25歳以上 第一回普通選挙</td> <td>1241万人</td> <td>(19.8%)</td> </tr> <tr> <td>1946年(昭和21年) 男女20歳以上の普通選挙</td> <td>3688万人</td> <td>(48.7%)</td> </tr> </tbody> </table>	選挙権の範囲	人数	割合	1890年(明治23年) 男25歳以上 直接選挙15円以上	45万人	(全人口の1.1%)	1902年(明治35年) 男25歳以上 直接選挙10円以上	98万人	(2.1%)	1920年(大正9年) 男25歳以上 直接選挙3円以上	306万人	(5.3%)	1928年(昭和3年) 男25歳以上 第一回普通選挙	1241万人
選挙権の範囲	人数	割合																
1890年(明治23年) 男25歳以上 直接選挙15円以上	45万人	(全人口の1.1%)																
1902年(明治35年) 男25歳以上 直接選挙10円以上	98万人	(2.1%)																
1920年(大正9年) 男25歳以上 直接選挙3円以上	306万人	(5.3%)																
1928年(昭和3年) 男25歳以上 第一回普通選挙	1241万人	(19.8%)																
1946年(昭和21年) 男女20歳以上の普通選挙	3688万人	(48.7%)																